

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
420004	X-13/31-B-2-420004	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
情報論	宇田 隆幸			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	専門	選択	2年
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	選択	2年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	選択	2年
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	選択	2年		

授業目的

本講義の目的は、会社や社会等における課題に関して「データに基づいて課題を解決する場合の基礎能力修得」です。すなわち「広義のデータ分析力」が身に付きます。

データ分析は大まかに次の能力が必要とされます。それは、①問題発見力、②データ分析力（狭義のデータ分析力）、③実行力です。このうち、②狭義のデータ分析力が必要とされる「難しい数学やAIアルゴリズム等の知識」は、本講義では簡単な説明に止めます。よって、この知識習得が必要だと感じたときは、別開講の科目（統計学、データサイエンス、人工知能、知識情報、応用統計学など）を履修してください。

本講義では、課題解決するとき「意思決定に役立つデータ分析能力の修得」に焦点を当てます。なぜなら、「②狭義のデータ分析」のみでビジネスの課題解決を実施すると、多くの場合、失敗するからです。そこで、まず「データ分析者の心構え」を説明し、続いて様々な課題解決事例を説明しつつ、①問題発見力に必要な思考方法、②狭義のデータ分析で用いるべき方式の選択方法、③実行力に必要な調整を含む行動方法を履修者の皆さんに考えていただき、ビジネスで必要とされる広義のデータ分析力について、文系的思考力を鍛えていただきます。

以上のことから、本講義が求める履修者像は文系の学生や、広義のデータ分析分野に興味を抱いた学生です。学生の皆さんは、講義や予習復習において、あなた自身が課題解決策を考えてください。課題解決策を考えることで、広義のデータ分析に対する思考力が涵養されるはずで、将来、今以上の発展が予想される高度情報化社会において、活躍できる人材（生き残れる人材）になって欲しい。なお、具体的講義内容は、1～15回の授業内容を参照されたい。

各回の授業内容

<p><b>第1回</b> 【授】 情報論・データ分析概論 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べる。</p> <p><b>第2回</b> 【授】 データ分析に関する勘違いは正（1）／データ分析の定義、分析の価値 ※ 授業内容が多いので、2回に分けて実施 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べる。</p> <p><b>第3回</b> 【授】 データ分析に関する勘違いは正（2）／分析モデルの限界、ビッグデータとリトルデータ ※ 授業内容が多いので、2回に分けて実施 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べる。</p> <p><b>第4回</b> 【授】 データ分析でビジネスを変革（1）／概論 ※ 授業内容が多いので、4回に分けて実施 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べる。</p> <p><b>第5回</b> 【授】 データ分析でビジネスを変革（2）／課題発見能力 ※ 授業内容が多いので、4回に分けて実施 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べる。</p> <p><b>第6回</b> 【授】 データ分析でビジネスを変革（3）／分析能力 ※ 授業内容が多いので、4回に分けて実施 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べる。</p> <p><b>第7回</b> 【授】 データ分析でビジネスを変革（4）／実行能力 ※ 授業内容が多いので、4回に分けて実施 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べる。</p> <p><b>第8回</b> 【授】 分析力の向上（1）／概論、心構え ※ 授業内容が多いので、2回に分けて実施 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べる。</p>	<p><b>第9回</b> 【授】 分析力の向上（2）／取捨選択と貪欲、習慣 ※ 授業内容が多いので、2回に分けて実施 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べる。</p> <p><b>第10回</b> 【授】 巫人指向の分析 （1）職業、分析者の要件、活躍の場 （2）専門知識、世の中のデータを知る （3）能力の発揮、応用可能な世界 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べる。</p> <p><b>第11回</b> 【授】 事例研究（A） （1）流通業 （2）製造業 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べる。</p> <p><b>第12回</b> 【授】 事例研究（B） （3）金融業 （4）サービス業 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べる。</p> <p><b>第13回</b> 【授】 事例研究（C） （5）インフラ業（通信、鉄道、航空、道路、エネルギー） （6）公共（教育、警察（警備）、消防（防災）） 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べる。</p> <p><b>第14回</b> 【授】 事例研究（D） （7）ヘルスケア業（病院、介護、製薬） （8）その他（農業、水産業、スポーツ、ゲーム） ※ 講義時間配分の都合で、（7）（8）は資料配布のみとなる可能性があります 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べる。</p> <p><b>第15回</b> 【授】 まとめ、期末試験の案内 ※ 期末試験の案内は、状況によっては第14回講義で実施する可能性があります 【前・後】 【事前】 パワーポイントのファイルをUPするので事前にプリントアウトして内容を確認してください。（2時間）・【事後】 板書あるいはパワーポイントの内容を復習しておいてください。（2時間）</p> <p><b>第16回</b> 【授】 定期試験</p>
---	---

成績評価方法

期末試験は各講義に沿った問題を数題出題し全問の解答を求める。成績は期末試験結果（80%）と講義途中の提出レポート（20%／超過累進配点）で評価する。課題の解法および参考解答を講義時に説明する。最終課題および期末試験については、参考解答をCampusmateに掲載する。

教科書・参考書

プリントを配布する。参考文献は毎回、講義の中で紹介する。

受講に当たっての留意事項

全体を継続して体系的に講義するので、散発的な出席では理解できなくなる。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
○	研究所や会社の勤務時代、データ分析に基づくビジネス意識改革を多数経験しています。また、データ分析に基づくビジネス改革に関する実績を博士論文にまとめることで博士学位を取得しました。	×

学習到達目標

各回の講義内容を学修して授業目的に記載した事項を修得する。

JABEE

関連する学習・教育到達目標：G

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習